

黒川みどり 静岡大学名誉教授退職記念講演&

人権教育啓発映画「被差別部落へのまなざし」完成上映会

この度、2024年3月をもって静岡大学を定年退職された黒川みどり名誉教授監修の下、『私のはなし 部落のはなし』を制作した満若勇咲監督による人権教育啓発映画「被差別部落へのまなざし—同和問題認識の近代史」が完成いたしました。

なぜ部落差別が残りつづけるのか。私たちはなぜ部落問題を克服できないのか。本企画では、第一部で、黒川みどり先生にご自身の研究生生活を振り返りながら部落問題の本質についてお話し頂き、第二部で映画上映をいたします。第三部では監督・出演者を交えたトークセッションを通じて、参加者と部落問題について理解を深めたいと考えます。

近現代日本のあゆみとともに部落差別の問題性を浮かび上がらせ、その解決の道筋を考えて参りたいと思います。是非ご参加ください。

※会場の収容人数の限度及び会の趣旨に反する等の理由で参加をお断りする場合があります。

参加
無料

[2024]
令和
6年

7月6日(土) 13:15 -

開場時間

会場：江崎ホール

静岡市葵区七間町 8-20
電話：054-255-2231



—プログラム—

第1部 13:30 - 14:40

黒川みどり 静岡大学名誉教授・退職記念講演

「歴史学と部落問題研究—研究生生活を振り返りながら読み解く部落差別の本質」

第2部 15:00 - 15:40

人権教育啓発映画「被差別部落へのまなざし—同和問題認識の近代史」上映

第3部 15:45 - 16:30

トークセッション：黒川みどり 静岡大学名誉教授 × 満若勇咲 監督 × 金城奈津希 (出演学生)

司会・進行：山本崇記 (静岡大学教員)

主催・問い合わせ先

静岡県人権・地域改善推進会 (会長 天野一) 静岡市葵区東草深町 20-27

電話：054-260-5246 FAX：054-260-5247 E-mail：jinchikai@amail.plala.or.jp

登壇者紹介



黒川みどり (くろかわ・みどり)

早稲田大学第一文学部日本史学専攻、同大学院文学研究科博士課程を経て、博士（文学）。1996年から2024年3月まで静岡大学教員。現在、静岡大学名誉教授。専門は、日本近現代史、とくに思想史、部落史等。

著書に、『地域史のなかの部落問題 近代三重の場合』（解放出版社、2003）、『描かれた被差別部落 映画の中の自画像と他者像』（岩波書店、2011）、『創られた「人種」』（有志舎、2016）、『評伝 竹内好』（共著、有志舎、2020）、『被差別部落認識の歴史』（岩波現代文庫、2021）、『増補近代部落史』（平凡社ライブラリー、2023）、『被差別部落に生まれて 石川一雄が語る狭山事件』（岩波文庫、2023）、『評伝丸山眞男』（有志舎、2024）他多数。

金城奈津希 (きんじょう・なつき)

静岡大学地域創造学環地域共生分野3年生。沖縄県出身。高校生時に、国立ハンセン病療養所沖縄愛楽園と演劇活動に取り組む。今回、人権教育啓発映画「被差別部落へのまなざし—同和問題認識の近代史」に出演。



満若勇咲 (みつわか・ゆうさく)

1986年生まれ、京都府出身。大阪芸術大学芸術学部映像学科在学中の2007年にドキュメンタリー映画「にくのひと」を制作。卒業後は東京の映像制作会社ハイクロスシネマトグラフィに所属し、若松孝二監督の映画『キャタピラー』（2010）、『千年の愉楽』（2012）に撮影スタッフとして参加した他、映画やテレビ番組の撮影に数多く携わる。『私のはなし 部落のはなし』（2022）で第96回キネマ旬報ベストテン文化映画作品賞（第1位）。

山本崇記 (やまもと・たかのり)

静岡大学人文社会科学部（地域創造学環）教授。専門は、差別・マイノリティ研究及び都市・地域社会学。『いま、部落問題を語る』（共編著、生活書院、2019）、『住民運動と行政権力のエスノグラフィ』（晃洋書房、2020）、『差別研究の現代的展開』（日本評論社、2022）、『インターネット時代のヘイトスピーチ問題の法的・社会的捕捉』（共編著、日本評論社、2023）、『都市・地域』（共著、岩波書店、2024）等。